

(1) 本年度の学校評価

本年度の 重点目標	<p>「拓く力の育成」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「基礎力」、「課題解決力」、「コミュニケーション力」に立脚した、「論理的思考力」、「人脈形成力」、「創造力」を身に付け、自己の未来を切り拓く力を育成する。 ・SPH事業の継続 		
項目（担当）	重点目標	具体的方策	留意事項
学校運営 （総務部）	全職員の協力を得た関係行事の運営	入学式・卒業式等の式典、PTA総会、防災訓練等の各種行事の細案及びマニュアルを作成する。	雨天時の行事における駐車場の確保が問題になることが予想できる。今後、役割分担で改善できる点は方法を検討していく。
	防災活動の充実と災害時の安全確保	防災活動の見直しを進め、防災意識の向上を図る。	生徒・教員の防災意識の向上を図り、さらに避難訓練の方法を検討する。
	学習環境の整備	生徒の健康的な学習活動のために、学習環境を整備する。	机・椅子・カーテンの現状を把握し、整備を図っていく。
PTA活動 （総務部）	保護者及び地域との連携	学校行事等へのPTAの積極的な参加を促し、保護者及び地域との連携を図る。	PTAの学校行事への参加について、保護者の方の意欲的な参加と教員側の参加を増やしていく。
学校広報 （総務部）	広報活動の充実	広報誌の内容を検討し、広報活動の充実を図る。	読者の意見を調査し、内容を検討するなど改善を図っていく。
学習指導 （教務部）	学力の向上	生徒が積極的に授業へ参加できる授業展開を考え、主体的に取り組む姿勢を身に付けさせる。 定期的且つ計画的に課題を実施し、予習復習をする習慣を身に付けさせる。	家庭学習が習慣化される課題、その課題を生かした授業の在り方を各教科でどう組み立てているか集約する方法について検討する。
生徒指導 （生徒指導部）	基本的な生活習慣の確立	着こなしと礼節ある元気な挨拶を指導する。	周辺地域を始めとする方々に、礼節ある元気な挨拶を褒められることが多くなったことを活かす。 挨拶の言葉と挨拶をする心という内面的部分の大切さと、清潔感のある着こなしについて生徒に考えさせる。
	交通安全意識の向上	交通ルールやマナーを守らせるため、ホームルーム・全校集会で指導する。	交通安全意識は向上しているが、未だ充分でない点を生徒に考えさせる。 教員による校外交通指導が積極的に行えるよう心掛ける。
	授業規律の確立	チャイム着席の継続指導を行う。 盗難防止を兼ねて、全職員で毎授業時間、教室巡回を行う。 姿勢を正して授業に参加させる。	組織的に生徒を指導する。 チャイム着席はもとより、授業を受ける姿勢が大切であることを生徒に考えさせる。
いじめ防止対策の推進 （生徒指導部）	いじめの未然防止に係る取組の充実	ホームルーム活動において、いじめ防止をテーマとした活動を行い、生徒がいじめ問題を主体的に考える機会を設ける。	生徒がいじめ問題について主体的に考え、自らに関わる問題と捉えられるようにする。
	いじめの早期発見、適切な事案対処	いじめの情報収集、事案対処に係る学校いじめ防止対策組織の役割を具体化し、教職員間で共有するとともに、生徒や保護者にも周知する。	いじめアンケートを実施し、学校いじめ防止対策組織の役割を保護者に周知することで、生徒が安心して学校生活を送ることができるような環境づくりを行う。

項目(担当)	重点目標	具体的方策	留意事項
図書館活動 (図書部)	生徒の主体的な学習と希望する進路の実現に有益な図書整備	各教科の教員と連携し、生徒が意欲的に学習に取り組める図書や、社会人に必要な能力を育成する図書等を充実させ、生徒に紹介する。	工業の専門書、資格試験及び就職試験の問題集、社会人のマナーや人間関係の形成について学べる図書等を紹介し、生徒が利用する機会の増加を図る。
	図書館及び視聴覚室の環境整備	図書館の学習情報センターとしての機能を充実させると共に、視聴覚室の設備を改善し、快適な学習環境の整備を目指す。	経年劣化した設備の修繕や新規購入を行う。また、生徒にとって有益な図書教材及び視聴覚教材を購入する機会を増やす。
	図書委員会活動の充実	図書館活動の活性化や図書館の環境整備に向けて、図書委員に主体的に活動させ、生徒の視点からより良い図書館づくりを行わせる。	図書委員が自ら意見を出し、現状を改善するための活動を行う機会を増やし、適切な指導を行う。
進路指導 (進路指導部)	地域社会に望まれる人材の育成	企業・地域が求める人材を育成するために、毎日の学校生活を通して、基礎学力の向上と人間性を育む。また、進路指導講話や各種の進路情報の提供を行う。	進路指導講話や各種の進路情報を通して、生徒に社会人としての在り方を考えさせる。 倫理観や規範意識を育てるために学校組織全体の協力を得る。
	キャリア教育の充実	1年生に対するキャリア教育を充実させて、将来の進路選択の意識付けを行う。 インターンシップとクラブマンⅢに参加する2年生の生徒数を増やす。	生徒が多くの企業や職種を研究して、様々な業種を理解できるように指導する。 より多くの生徒に、企業における就業体験をさせて、勤労観や職業観を醸成させる。
	進路指導体制の充実	各学年に応じた進路講話や面接指導を充実させる。 就職先の情報提供を工夫する。 就職者の状況調査を行い、進路指導に反映させる。	担任や学科と充分に連絡を取りながら、より一層の効果が上がるように準備や指導を行う。
保健活動 (保健部)	健康管理	健康診断や季節に応じた「保健だより」を通して、生徒の健康に対する自覚を促す。	生徒が興味・関心を持つような支援を心掛けることで、健康に対する自己管理能力を育てる。
	学習環境の整備	清掃時間を必ず確保するようにする。 道具の準備から片付けまで、きちんと行えるよう指導する。	日々の清掃をきちんと行うように指導し、美化意識を高めるよう配慮する。
	学校安全の確保	主に運動部の主将とマネージャーを対象に熱中症予防講演会を開く。 長期休業前の集会で安全に留意するよう周知する。	教員や一部生徒だけが行うのではなく、全生徒が自身の体調に気を配れるようにする。
健康障害防止 (保健部)	職員の時間外労働管理と保健指導	職員の在校時間を安全衛生委員会で確認し、1ヶ月に80時間を超える者に対して面接指導などを実施する。	健康状態などの聞き取りを行う。 勤務時間外で学校にいる職員に声掛けを行う。 休養室が利用しやすい環境にする。

項目（担当）	重点目標	具体的方策	留意事項
教育相談 （保健部）	教育相談の充実	学年会の資料を参考にして、悩みや問題を抱えている生徒の状況を把握する。 学級担任と協力しながら、スクールカウンセラーとの面談につなげるなどして、生徒を支援する。	職員間での情報交換を密にし、最善の対策を考える。必要に応じて、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、特別支援教育に関する専門機関にアドバイスを求める。
情報管理 （情報管理・研修部）	情報セキュリティの確保	職員個々の情報セキュリティ意識の向上を図る。	情報セキュリティ対策を校内に浸透させるため、校内研修の在り方や関連資料等の利用について考える。
	情報発信	学校ホームページの更新や有用な情報メールの発信を行う。	掲載内容の精選とタイムリーな情報発信（更新）を行い、価値ある情報発信の場を構築する。
職員研修 （情報管理・研修部）	校内研修	基本研修・現職研修などの校内研修を充実させる。	教員のスキルアップのために、適切なタイミングでの校内研修について検討する。
資格指導 （工務部）	資格取得データの管理・活用	資格取得に関する情報を提供する。 取得された資格の管理を行う。	生徒や保護者のニーズに合った資格情報の提供をする。 資格取得データの管理と提供の方法を整理する。分掌・学年の意見を集約し、管理データを運用する。
中・高連携 （工務部）	中学生体験入学の充実	中学生体験入学に参加した中学生・保護者の要望や本校職員の意見を踏まえて中学生体験入学を計画し実施する。 実施時期を変更した部活動体験の在り方や方法を検討し、実施に繋げる。	工業のものづくりの楽しさを伝えられる内容や方法について検討する。 本校の活気ある部活動を知ってもらう機会として考える。
地域交流 （工務部）	地域に根ざした交流の推進	豊田市高等学校魅力発見フェスタに参加し、地域との交流を図る。 合わせて本校生徒の活躍の場を提供する。	工業高校の魅力を地域（小学生・中学生・保護者・市民全般）にアピールするために学校全体の紹介や4学科の展示・実演・体験の在り方や方法を検討し、実施する。
課題研究成果発表 （工務部）	課題研究成果発表の整理・充実	各科の課題発表会を実施する。 4科合同の課題発表会を実施する。	継続的に実施できる内容や発表の方法を考え、実施する。
学校関係者評価を実施する主な評価項目		<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の実態に合わせた適切な教科指導について ・問題行動（いじめを含む）や遅刻指導といった生活指導について ・学校行事への取組について ・部活動指導について ・職員の健康障害防止について 	

(2) 前年度の学校評価

ア 自己評価結果等

本年度の 重点目標	「即戦力の育成」 ・「知識、技術、技能」＋「意欲」＋「協働」＋「思いやり」 ・SPH事業の継続		
項目（担当）	重点目標	具体的方策	評価結果と課題
学校運営 （総務部）	全職員の協力を得た関係行事の運営	入学式・卒業式等の式典、PTA総会、防災訓練等の各種行事の細案及びマニュアルを充実させる。	入学式・卒業式・PTA総会において、駐車場係が不足気味であった。特に、雨天時は大変な状態であったが、全教員の協力で運営できた。係の割振りについて、再考する必要がある。
	防災活動の充実と災害時の安全確保	防災活動の見直しを進め、防災意識を向上させる。	第2回目の防災訓練について大幅な見直しを行った。生徒・教員の防災意識の向上は図れたが、さらに避難訓練の方法を検討していきたい。
	学習環境の整備	生徒が健康的な学習生活を送るための学習環境を整備する。	机・椅子の状況を把握し、補充を図ることができた。今後も少しずつ補充できるようにしたい。
PTA活動 （総務部）	保護者及び地域との連携	PTA保護者の積極的な学校行事参加を促す。	PTAの学校行事の参加について、意欲的な参加・協力といった状況が持続しているため、今後もこの傾向を維持していきたい。
	広報活動の充実	読者の意見を調査する。	今年度、大きな変更はしていない。読者の意見を調査して、内容を再検討する等、工夫して少しずつ改善を図っていきたい。
学習指導 （教務部）	学力の向上	予習・復習を促すために、定期的且つ計画的に課題を実施するよう促す。 生徒が積極的に参加できる授業展開を行う。	教科毎に課題が与えられ、提出状況も良く、理解度も上がっている。授業の中でグループワークやプレゼンテーションなどを取り入れるなど、生徒の意欲的な授業参加を促す工夫がされている。
生徒指導 （生徒指導部）	基本的な生活習慣の確立	礼節ある元気な挨拶を指導する。	外部や地域の方に、礼節ある元気な挨拶を褒められることが多くなった。また、基本的な生活習慣への意識が向上してきているため、授業態度もよくなり、出席率も高水準を維持している。遅刻数が前年度より増加したことが課題である。
	交通安全意識の向上	交通ルールやマナーを守らせるため、全校集会で指導する。	校外の交通指導を積極的に行うように心がけた。交通ルール・マナーを守れない生徒が一部いたが、集会で講じるようにしたり、一人一人に声をかけたりする中で、交通安全意識の向上がみられるようになってきている。
	授業規律の確立	チャイム着席の継続指導を行う。 盗難防止を兼ねて、全職員で毎授業時間、教室巡回を行う。 姿勢を正して授業に参加させる。	盗難防止を兼ねて、全職員で毎授業時間、教室巡回指導を行った。組織的に生徒を指導することにより、チャイム着席はもとより、授業を受ける姿勢が大変前向きになってきている。

項目 (担当)	重点目標	具体的方策	評価結果と課題
いじめ防止対策の推進 (生徒指導部)	いじめの未然防止に係る取組の充実	ホームルーム活動において、いじめ防止をテーマとした活動を行い、生徒がいじめ問題を主体的に考える機会を設ける。	朝礼で生徒全体への指導を行ったり、STやLTを利用してクラス毎に指導を行ったりすることにより、いじめ防止に対する認識は増してきている。
	いじめの早期発見、適切な事案対処	いじめの情報収集、事案対処に係る学校いじめ防止対策組織の役割を具体化し、教職員間で共有するとともに、生徒や保護者にも周知する。	全生徒を対象に実施したアンケートの内容をいじめ・不登校対策委員会にて精査し、適切な対応を検討した。対応内容は職員全体で共有できるようにした。
		いじめアンケートの実施方法や、その後の対処のあり方について検証し、いじめの早期発見、適切な対応につなげる。	他の生徒の目に触れないように、アンケート用紙を個別に厳封できるようにした。アンケート結果を基に、いじめの兆しがある生徒から個別に内容の確認を行ったり、相談に応じたりしたことを対応策に生かすようにした。
図書館活動 (図書部)	生徒の主体的な学習と希望する進路の実現に有益な図書の整備	各教科の教員と連携し、生徒が意欲的に学習に取り組める図書や、他者を思いやる能力を育成する図書等を充実させ、生徒に紹介する。	多くの先生方の紹介により、工業・科学に関する図書や資格試験の問題集を重点的に購入した。また、年度の後半には、社会の現状や他者の心情の理解に有益な図書も購入した。今後は、これらの図書を多くの生徒に活用してもらえよう宣伝していきたい。
	図書館及び視聴覚室の環境整備	学習・情報センターとしての機能を充実させるとともに、図書の整備・管理の方法を改善し、快適な学習環境の整備を目指す。	授業における探求学習での利用の際、有効な書籍の紹介を行い、そこで見いだした課題をもとに、図書の配置改善を実施している。今後もこの活動を継続していきたい。
	図書委員会活動の充実	図書館活動の活性化や図書館の環境整備に向けて、図書委員に主体的に活動させる。	昨年度から実施している図書委員によるPOP(図書紹介カード)の制作も軌道に乗り、積極的にアイデアを出したり、工夫を凝らしたりする生徒が増えている。今後も図書委員が主体的に活動できる機会を増やし、適切な指導を行いたい。
進路指導 (進路指導部)	地域社会に望まれる人材の育成	企業・地域が求める人材育成のために、進路指導講話や進路情報の提供を行う。	各学年の生徒向け進路ガイダンスや保護者向け進路説明会を通して、企業が求める人材像・仕事を遂行するための心構え・求人状況などを説明した。
	キャリア教育の充実	インターンシップに参加する生徒数を増やす。 進路講座等の外部講師に卒業生を積極的に招く。	インターンシップは、26社の企業に42名の生徒が参加した。人数は昨年度よりも増えており、生徒は就業体験を通して職業観を育むことができた。 社会人講師として卒業生を4名招いて、1年生に対して講演会を行い、選科に対する意識付けと進路意識の向上を図ることができた。
	進路指導体制の充実	各学年に応じた進路講話や面接指導を充実させる。 就職先の情報提供を工夫する。	学校斡旋による就職希望者に対して、年度当初から各種の情報提供や進路指導を行い、全員の進路先が決定した。

項目 (担当)	重点目標	具体的方策	評価結果と課題
保健活動 (保健部)	健康管理	健康診断や季節に応じた「保健だより」を通して、生徒の健康に対する自覚を促す。	分かりやすい情報発信を続けることで、生徒が健康について自覚し、その向上のために必要なことを自ら考え実践できるよう導くようにした。
	学習環境の整備	清掃時間を必ず確保するようにする。 道具の準備から片付けまで、きちんと行えるよう指導する。	時間は短いものの全校生徒・教職員の清掃活動もしっかり行われている。今後は窓の棧など隅もきれいしてもらえるよう検討したい。
	学校安全の確保	主に運動部の主将とマネージャーを対象に熱中症予防講習会を開く。 長期休業前の集会で安全に留意するよう周知する。	1学期期末考査終了後、部活動キャプテンなど生徒を対象に資料やDVDを使い講習会を行った。保健の授業でも、熱中症対策の必要性を取り上げた。
健康障害防止 (保健部)	職員の時間外労働管理と保健指導	職員の在校時間を安全衛生委員会で確認し、1ヶ月に80時間を超える者に対して面接指導などを実施する。	健康状態などの聞き取りを行うとともに、勤務時間外で学校にいる職員に声掛けを行った。時間外従事時間が1ヶ月に80時間を超える者は、延べ46人であった。
教育相談 (保健部)	教育相談の充実	学年会の資料を参考に悩みを抱えている生徒の状況を把握し、学級担任と協力しながらカウンセラーとの面談につなげるなどして、該当生徒を支援する。	学年会の資料を参考にしながら、問題を抱えていそうな生徒に声かけを行うことによって、適切にカウンセリングにつなげることができたという事例があった。問題を抱える保護者へのアプローチ方法等を検討する必要がある。
情報管理 (情報管理・研修部)	情報セキュリティの確保	職員個々の情報セキュリティ意識の向上を図る。	ウイルスや迷惑メールの情報を提供することで、情報セキュリティの意識を高めることができた。
	情報発信	学校ホームページの更新や有用な情報メールの発信を行う。	ホームページの随時更新や緊急情報メールを活用して、広く情報発信を行った。
研修 (情報管理・研修部)	校内研修	基本研修・現職研修などの校内研修を充実させる。	初任者の数が多いこともあり、研究授業の回数も多く、研修の機会が広がった。
資格指導 (工務部)	資格取得データの管理・活用	資格取得に関する情報を提供する。 取得された資格の管理を行う。	各検定の処理を円滑に進めることができた。今後、校務支援システム(メソフィア)を利用し、データを有効活用できるようになるとよい。
中・高連携 (工務部)	中学生体験入学の充実	中学生体験入学に参加した中学生・保護者の要望や本校職員の意見を踏まえて中学生体験入学を計画し実施する。	今年も多くの中学生の参加があったが、受付方法の改善によりスムーズに運営できた。在校生が主体となった説明は、中学生の評価が高かった。引率者の駐車案内が課題である。
地域交流 (工務部)	地域に根ざした交流の推進	豊田市高等学校魅力発見フェスタに参加し、地域との交流を図る。	今年度、2年生各クラス1名の魅力発見委員が会場にて説明することによって、4科それぞれの特徴を効果的に広報できた。
研究成果発表 (工務部)	課題研究成果発表の整理・充実	各科の課題発表会を実施する。 4科合同の成果発表会を実施する。	文科省スーパー・プロフェッショナル・ハイスクール事業は終了したが、各科で学ぶ集大成としての課題研究を発表する場を設け、生徒のものづくり学習を充実させる。
総合評価	<p>・遅刻する生徒の数が減少する傾向は本年度も同様であり、時間を守るという点においては生徒の意識が高まってきたことが窺える。しかし、挨拶に関しては、例年より声が少なくなってきたという意見を聞くようになり、他人との良好な関係を築く基本的な行動面が消極的になってきたのではないかと危惧する。基本的な生活習慣の確立や積極的に他者との良好な関係を築く態度の育成については、引き続き指導を行ってきたい。</p> <p>・基礎学力の向上は言うまでもないが、さまざまな学びの場面で自ら考え工夫する姿勢や能力を育む教育活動が必要であることは、これからの社会(多文化共生社会)において求められている。学校現場でその教育機会をどう提供したらよいか、継続して考えていかなければならない。</p>		

イ 学校関係者評価結果等

学校関係者評価を実施した主な評価項目	学習指導における授業改善の推進、及び生活指導における生活習慣の定着指導について
自己評価結果について	<ul style="list-style-type: none"> ・遅刻をする生徒や成績不振者の数が少なくなってきた。生活指導・学習指導のさらなる充実に向けていきたい。 ・自転車でのながらスマホを見かけたという指摘がある。交通安全指導を強化して交通事故ゼロを目指したい。 ・生産職に関する求人は安定しており、生徒も希望する企業に就職することができた。引き続き資格取得に努め、生徒に社会で働いていくための生きる力を身に付けさせたい。 ・学校行事に生徒が主体的に取り組む雰囲気づくりの成果は、確実に出てきている。今後も生徒会活動を中心として、生徒が満足感や達成感を抱けるような活動ができるよう支援していきたい。
今後の改善方策について	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒自らが主体的に取り組める授業づくりにどう取り組んでいったらよいか、引き続き考える必要がある。 ・良好な人間関係を築くために、積極的に対話を図りながら相手を思いやる資質を育む指導を進める。 ・学校の情報発信を積極的に行い、地域社会・家庭・学校の連携を密にし、教育活動を推進する。
その他（学校関係者評価委員から出された主な意見、要望）	<ul style="list-style-type: none"> ・年々、生徒一人一人に応じた指導がなされている。 ・生徒が希望をもって学校生活を送ることができている。 ・地区として、生徒の安全安心確保に協力したい。 ・地域との関係がさらに良好になる活動があれば提案して欲しい。 ・資格を取得することで、もっているスキルの判断材料だけでなく、部署配属の参考となる。
学校関係者評価委員会の構成及び評価時期	<ul style="list-style-type: none"> ・構成・・・学校評議員 5 名（PTA 会長を含む） ・評価時期・・・1 月中旬

(3) 経営管理上の問題点等

ア 学校運営

- (ア) 経営方針の明確化を図り、年齢・経験を考慮し、各分掌と学年及び各教科の連携が強化される組織を構成することにより、それぞれの教育活動の調和がとれ、成果が上がる運営になるように努める。
- (イ) 学校関係者評価委員会等からの意見に基づき、各分掌が創意工夫した魅力ある学校づくりに寄与できるように努める。

イ 学習指導

- (ア) 確かな授業規律を元に、授業を大切にし、生徒の能力や適性等に応じた指導法を工夫しながら思考力の育成を図る。
- (イ) 各学科の学習内容の充実と指導法の研究を一層進めるとともに、工業の専門性を身に付けるために、技能の習得や各種の資格取得に向けて指導の充実を努める。
また、進学者や企業内学園希望者については、本校の特徴であるスタディールームの一層の充実を図る。

ウ 生徒指導

- (ア) 基本的な生活習慣を確立させるため、家庭との連絡を密にして、計画的にきめ細かい指導を推進する。
- (イ) 生徒指導における教職員の共通理解を深め、問題行動の防止に努める。
- (ウ) 交通安全指導には一層の徹底を図り、「四ない運動」と交通マナーの指導を通じて、「命の大切さ」を身に付けさせる。
- (エ) いじめの防止に組織的に取り組み、生徒が安心して学校生活を送ることができるような環境づくりを行う。

エ 施設・設備・その他

- (ア) 教室棟・実習棟の全面改修及びフェンス改修等が必要である。
- (イ) 実習設備の老朽化が激しいため、新しい技術に対応した実習設備の更新を要望したい。